

幼児教育の実際を向上させるのには、幼稚園の現場の研究をさかんにする必要があり。現場の教育の實踐が研究的に行なわれるときに、実際の教育も向上するし、幼児教育の理論もまた前進するのである。

最近、幼児教育関係の短大で、専攻科を設け、幼稚園の現職の教師が、一週に一度、また数度継続的に学校で勉強する機会を作っていることは、時宜に適したものである。現職の教師が、現職のまま、生きながら、勉強をつづけ、ある問題は一度、現職経験を持つて後に、学校で専心勉強する機会を持ち、再び現職にもどるといふような制度は、幼児教育の實踐と理論に大いに役立つものとなる。こうして、幼児教育の研究をさかんにすることが、ほんとうの幼児教育を考えていくのに必要なのである。

おそらく、日本全国各地で、短大または大学に専攻科を設置し、現職者の便宜をはかっていると思うので、そのような短大ま

たは、大学があるならば、編集部にお知らせ頂きたいと思つてゐる。さしあたり、左の短大で、専攻科を開設してゐるので読者がひろく勉強されるのに便宜のために記しておくことにする。

☆東洋英和女学院短期大学、専攻科（保育

専攻）・授業時間、毎週月曜より金曜まで、

午後一時五十分より五時三〇分まで。・東

京都港区六本木五の一四の三七、電話五八

三一五四七八（修業年限二年、分割聴講可）

☆聖徳学園短期大学、専攻科（保育専攻）・

授業時間、毎週月曜より金曜まで、午後五

時四十分より八時四十分まで。・東京都港

区三田三の四の二八、電話四五三一八〇

一（修業年限二年、分割聴講可）

☆幼児教育を専攻できる大学院も、もつと

つくられていくと、幼児教育学、保育学が

進歩していくであろう。現在は、お茶の水

女子大学、家政学部大学院に児童学専攻課

程があり、保育学特論が設けられている。

すでに十名以上の修士を出している。

## 幼児の教育 第六十七卷第三号

三月号 © 定価八〇円

昭和四十三年二月二十五日印刷  
昭和四十三年三月一日発行

東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真  
発行者

東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村一ノ一一

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館  
振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売  
所フレーベル館にお願いいたします